

航空自衛隊F-2戦闘機の訓練飛行見合わせ解除について

事案の概要

- 発生日時：令和7年8月7日（木）12時34分頃
- 発生場所：百里基地の北東約150km地点の洋上
- 概要：航空自衛隊第7航空団（百里）のF-2A×1機が、茨城県沖の訓練空域で訓練中、エンジンの不調及び推力の低下について通報した後、搭乗員1名が緊急脱出
- 被害状況：船舶等への被害は確認されていない
- 措置等：事案発生後、F-2戦闘機について、訓練飛行を見合わせ

航空自衛隊 F-2 戦闘機の訓練飛行見合わせ解除について

搭乗員への聞き取りによって判明した事項

衝撃音と振動を感じた

エンジンの不具合を告げる注意灯の点灯を認識した

エンジンの推力が低下し回復しなかった

エンジンの再始動を試みたが成功しなかった

フライトデータレコーダーの一次的な解析によって判明した事項

飛行開始から事故機の搭乗員が異常（衝撃音等）を確認するまでの間、機体の異常を示すデータなし。

事故機の搭乗員が異常を認めた以降についても、搭乗員の聞き取り結果と矛盾しないことをデータで確認

- ・分析から考えられる要因は、エンジンの推力低下または、制御システムの故障等
- ・フライトデータレコーダーの一次的な解析により、分析の妥当性について確認

訓練飛行見合わせの解除

事故発生翌日、防衛大臣より、

- 各自衛隊の全ての航空機に対して飛行前後の点検を入念に実施
- 各自衛隊の全ての操縦者に対して安全管理や緊急時の手順についての教育を実施
- これらを確実に実施するため各自衛隊の部隊等の長は、管下の隊員を適切に指導すること

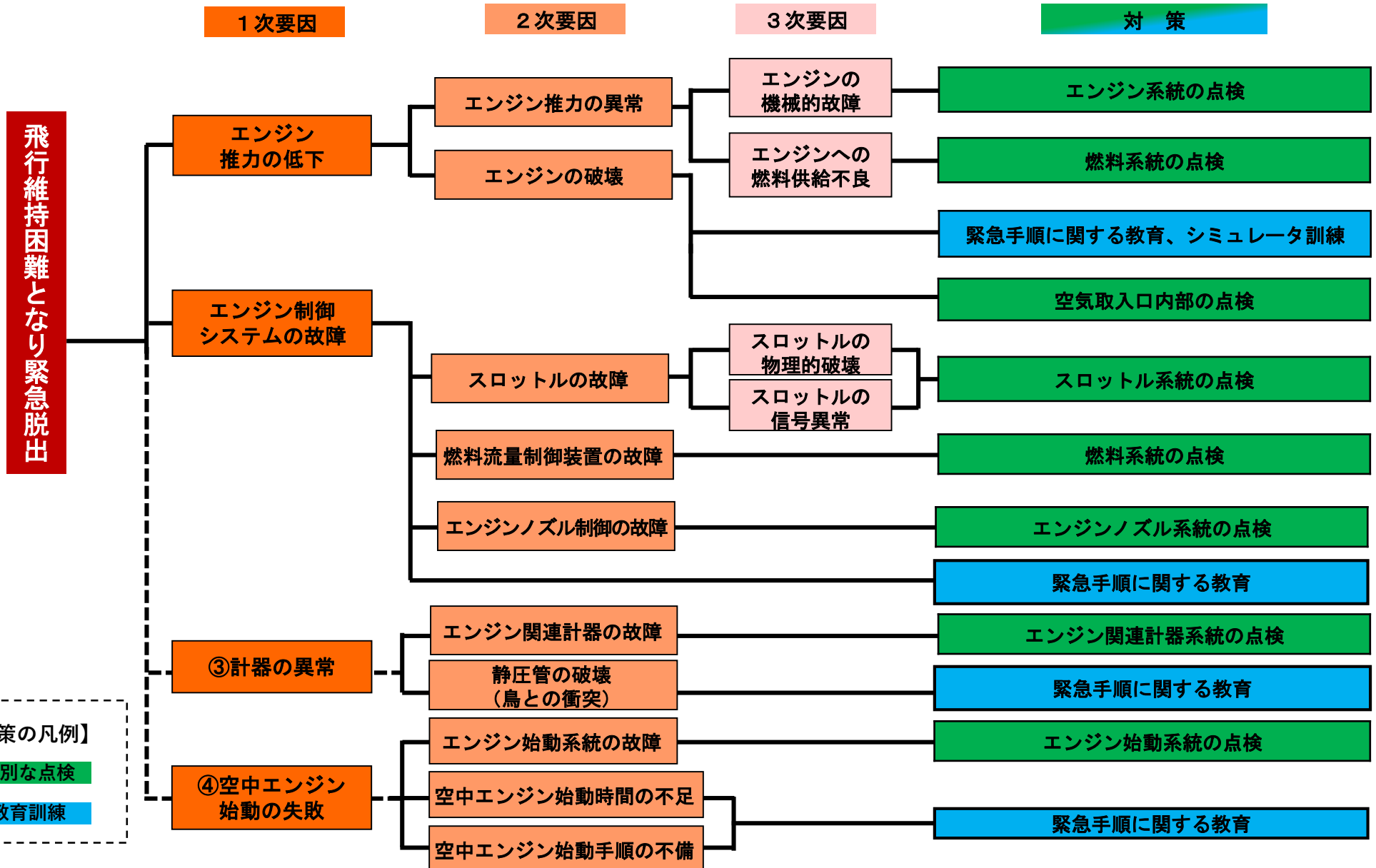
について指示。上記3点の措置を徹底。

更に、考え得る事象を網羅的に列挙し対策を導出し、飛行安全を確保するため、機体の健全性を確認するための特別な点検と操縦者に対する緊急手順に関する教育を実施。

事故発生直後から、航空自衛隊の F-2 の訓練飛行を見合わせてきたところ、搭乗員の聞き取り及びフライトデータレコーダーの一次的な解析の結果を基に、飛行安全の確保のための対策を講じたことを踏まえ、9月29日から、訓練飛行の見合わせを解除する。

要因分析と対策

【フォルト・ツリー解析（FTA）の図】



対策の状況

特別な点検

内視鏡カメラを用いた
エンジン内部の点検



エンジン出力及び
出力信号の点検

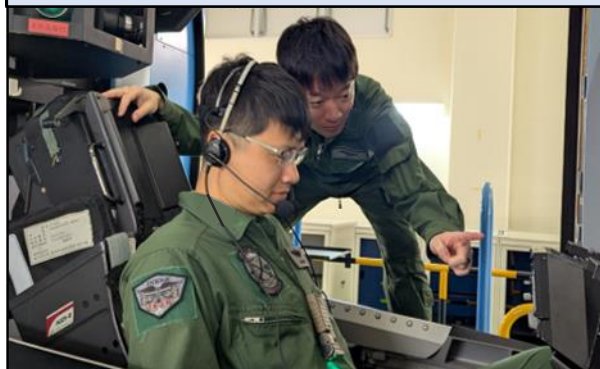


スロットル系統
の点検



操縦者に対する緊急手順に関する教育

緊急手順に関する教育



緊急脱出に関する教育

